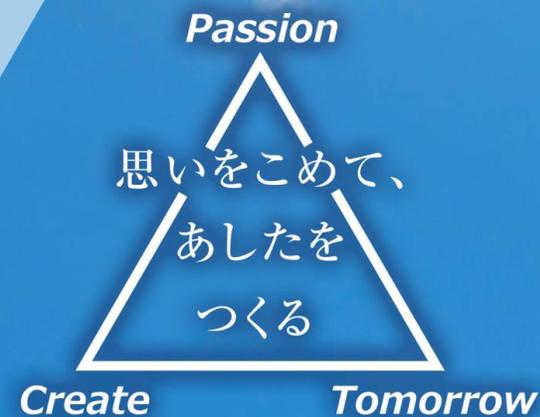


2024年3月期決算説明会

第100期：（2023年4月1日～2024年3月31日）

2024年5月8日



- 1. 2023年度実績**
- 2. 2024年度通期予想**
- 3. 中期経営計画「NEXUS-26」 進捗**

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 2023年度 連結業績

堅調な自動車生産により販売物量増加し、売上・利益ともに過去最高

(億円、%)

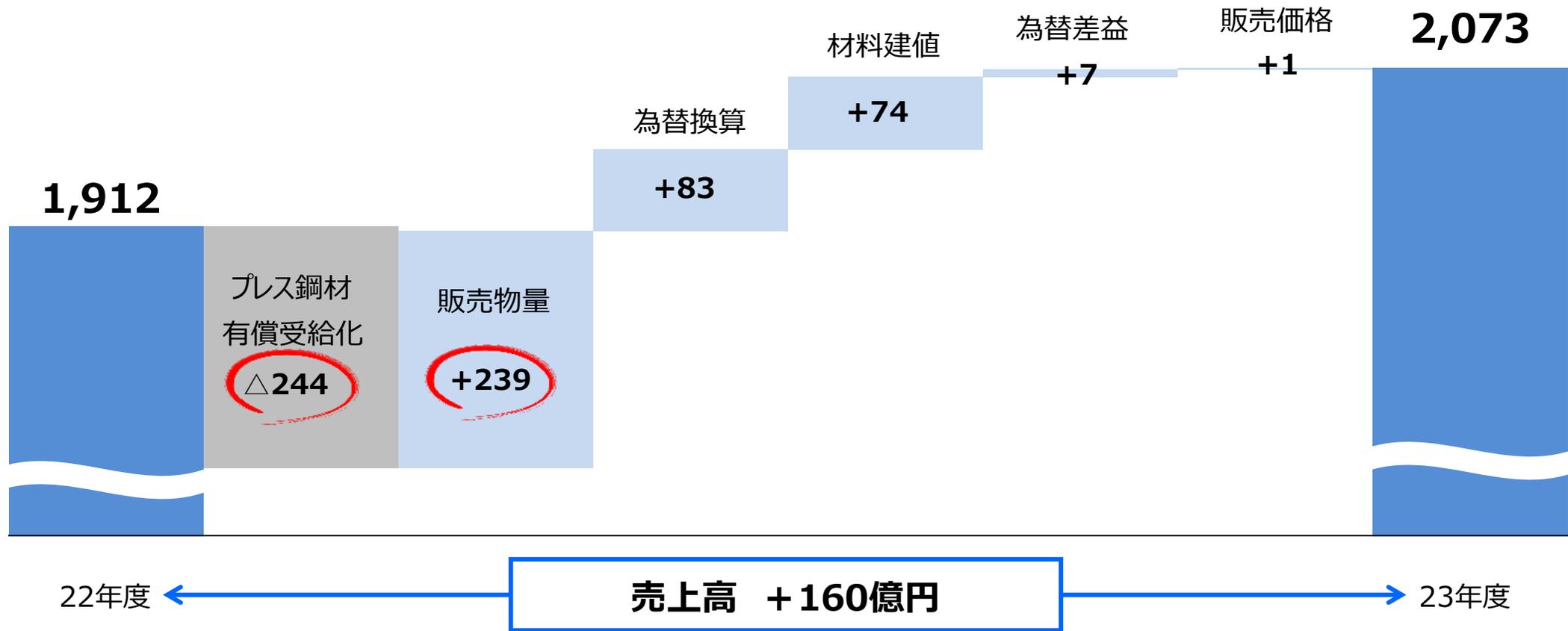
	2022年度		2023年度		前期比			
	4Q実績	通期実績	4Q実績	通期実績	4Q実績		通期実績	
					増減	増減率	増減	増減率
売上高	478	1,912	過去最高 513	過去最高 2,073	+35	+7.4	+160	+8.4
営業利益	36	92	32	過去最高 144	△3	△10.9	+51	+55.5
営業利益率	7.5%	4.9%	6.3%	7.0%	△1.2P	-	+2.1P	-
経常利益	46	132	44	過去最高 188	△2	△4.3	+56	+42.6
経常利益率	9.8%	6.9%	8.7%	9.1%	△1.1P	-	+2.2P	-
親会社株主に帰属する当期純利益	31	93	過去最高 60	過去最高 169	+29	+95.7	+76	+82.5
当期純利益率	6.5%	4.9%	11.8%	8.2%	+5.3P	-	+3.3P	-
平均為替レート (米ドル)	133.3円	134.9円	147.0円	144.2円	+13.7円	-	+9.3円	-

※2022年度第4四半期以降、プレス鋼材の有償受給化による売上高と売上原価の相殺表示対象増加により、売上高が減少しています。
2023年度通期実績には、上記影響により、前年同期比244億円の売上高減少が含まれています。利益への影響はありません。

1-2 連結売上高 増減要因

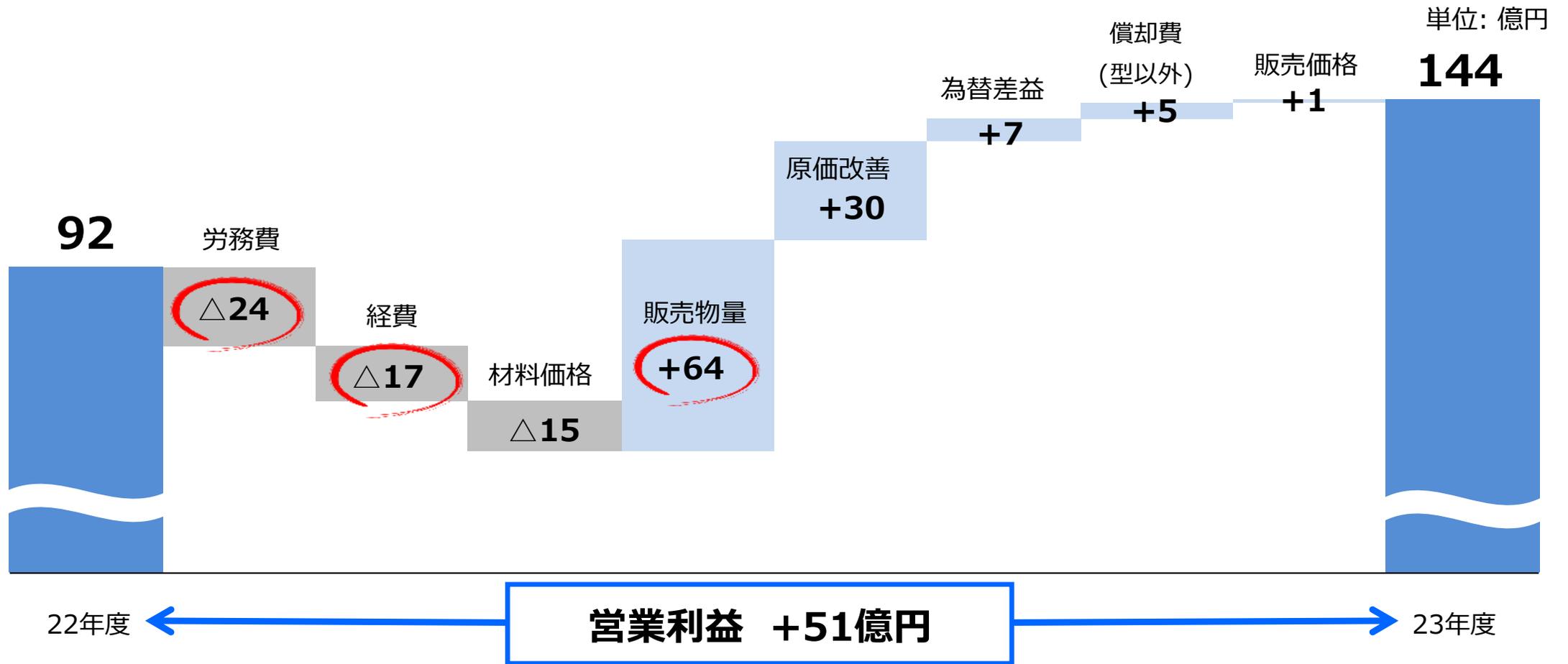
販売物量増加及び円安による為替換算等により、売上高は過去最高

単位: 億円



1-3 連結営業利益 増減要因

生産物量の増加によりコストは増加、販売物量増加と改善により過去最高益



1-4 連結事業別セグメント

プレス・樹脂は増収増益、バルブは増収も利益は前年並み

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	2022年度 実績	2023年度 実績	前期比		2022年度 実績	2023年度 実績	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
プレス・樹脂	1,368	1,499	+131	+9.6	49	103	+54	+108.8
(プレス鋼材有償受給化影響)	(△51)	※ (△295)	(△244)					
営業利益率					3.6%	6.9%	+3.3P	
バルブ	542	571	+29	+5.4	42	41	△1	△3.3
営業利益率					7.9%	7.2%	△0.7P	

※2022年度第4四半期より、プレス鋼材有償受給化による売上減少が含まれています。利益への影響はありません。

1-5 連結地域別セグメント

日本・欧米は実質的に増収・増益、アジアは前年並みの売上高で減益

(億円、%)

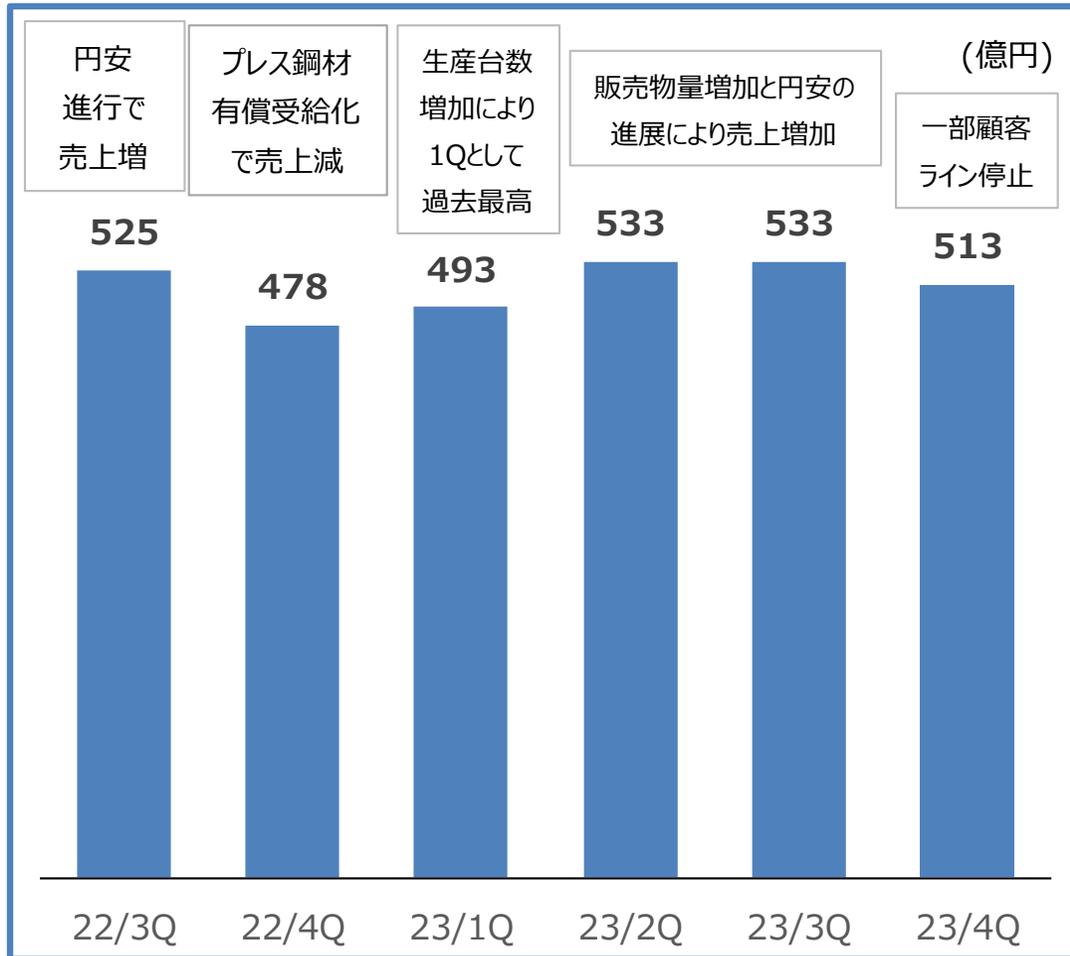
	売上高				営業利益			
	2022年度 実績	2023年度 実績	前期比		2022年度 実績	2023年度 実績	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
日本	706	679	△27	△3.8	49	62	+12	+25.3
(プレス鋼材有償受給化影響)	(△51)	※ (△295)	(△244)					
営業利益率					7.1%	9.2%	+2.1P	
欧米	781	969	+188	+24.2	△1	43	+44	黒字化
営業利益率					△0.2%	4.4%	+4.6P	
アジア	425	424	△0	△0.2	36	26	△9	△26.9
営業利益率					8.7%	6.4%	△2.3P	

※2022年度第4四半期より、プレス鋼材有償受給化による売上減少が含まれています。利益への影響はありません。

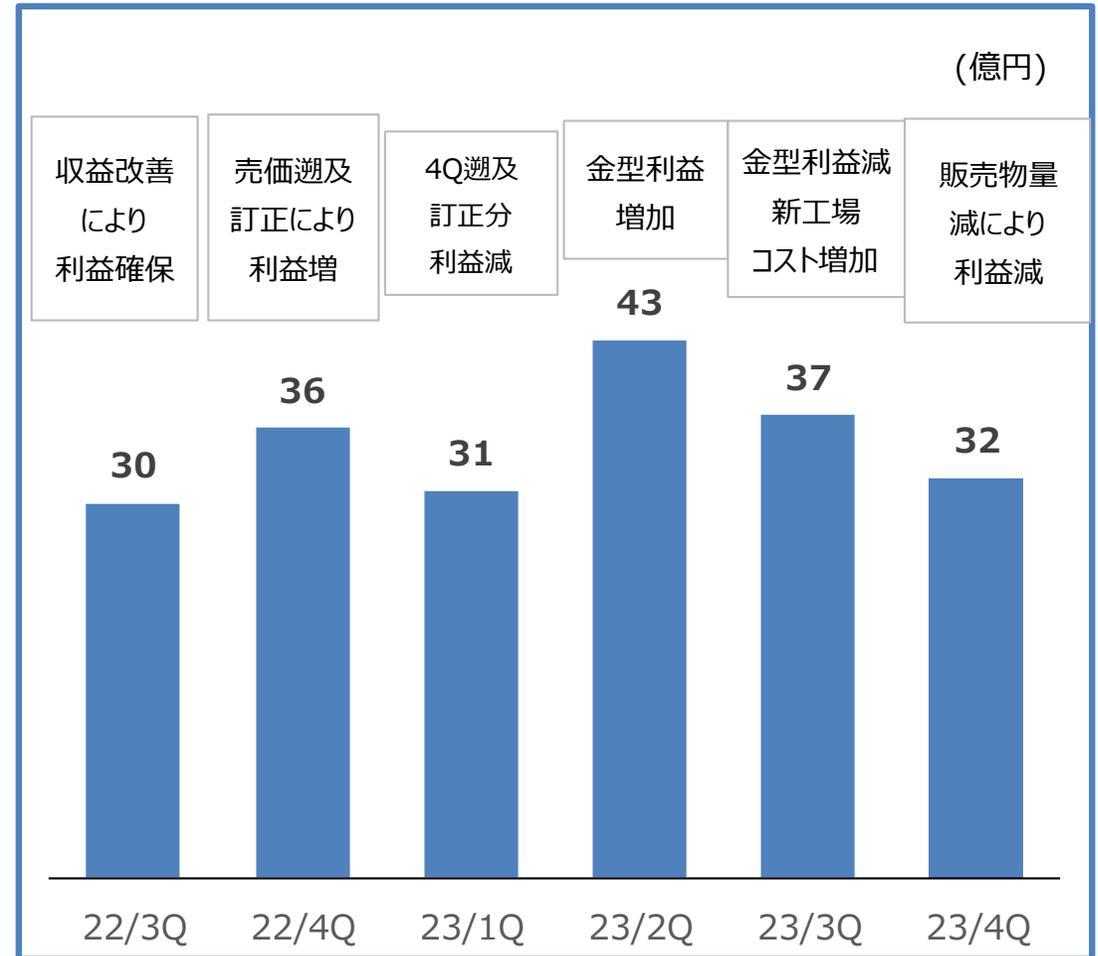
1-6 四半期別 連結業績推移

新工場稼働開始に伴う準備コスト、償却負担増加等により3Q以降利益減

売上高



営業利益



1. 2023年度実績
- 2. 2024年度通期予想**
3. 中期経営計画「NEXUS-26」 進捗

2-1 2024年度 連結業績予想

販売物量の減少と労務費、経費等のコストアップにより減益の見込み

(億円、%)

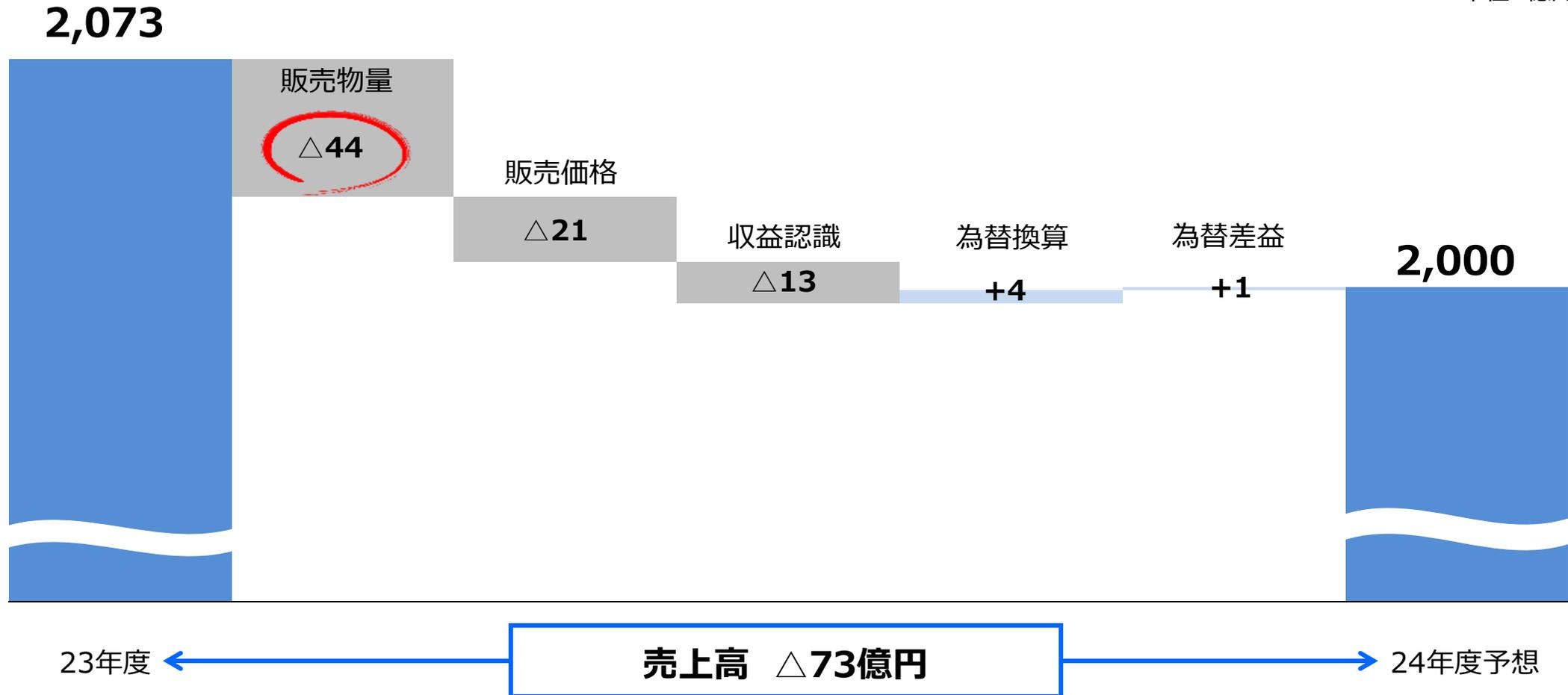
	2023年度		2024年度		前期比			
	2Q累計 実績	通期 実績	2Q累計 予想	通期 予想	2Q累計		通期	
					増減	増減率	増減	増減率
売上高	1,026	2,073	980	2,000	△46	△4.5%	△73	△3.5%
営業利益	74	144	45	110	△29	△40.0%	△34	△23.9%
営業利益率	7.3%	7.0%	4.6%	5.5%	△2.7P	—	△1.5P	—
経常利益	103	188	55	130	△48	△46.8%	△58	△31.0%
経常利益率	10.1%	9.1%	5.6%	6.5%	△4.5P	—	△2.6P	—
※ 当期純利益	75	169	45	100	△30	△40.2%	△69	△41.1%
ROE	—	11.2%	—	6.0%	—	—	△5.2P	—
ROA(営業利益ベース)	—	5.3%	—	3.7%	—	—	△1.6P	—
一株当り純資産	—	2,840円	—	2,895円	—	—	+55円	1.9%
平均為替レート(米ドル)	139.9円	144.2円	145.0円	145.0円	5.1円	—	+0.8円	—

※ 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益です。

2-2 通期 連結売上高 増減要因

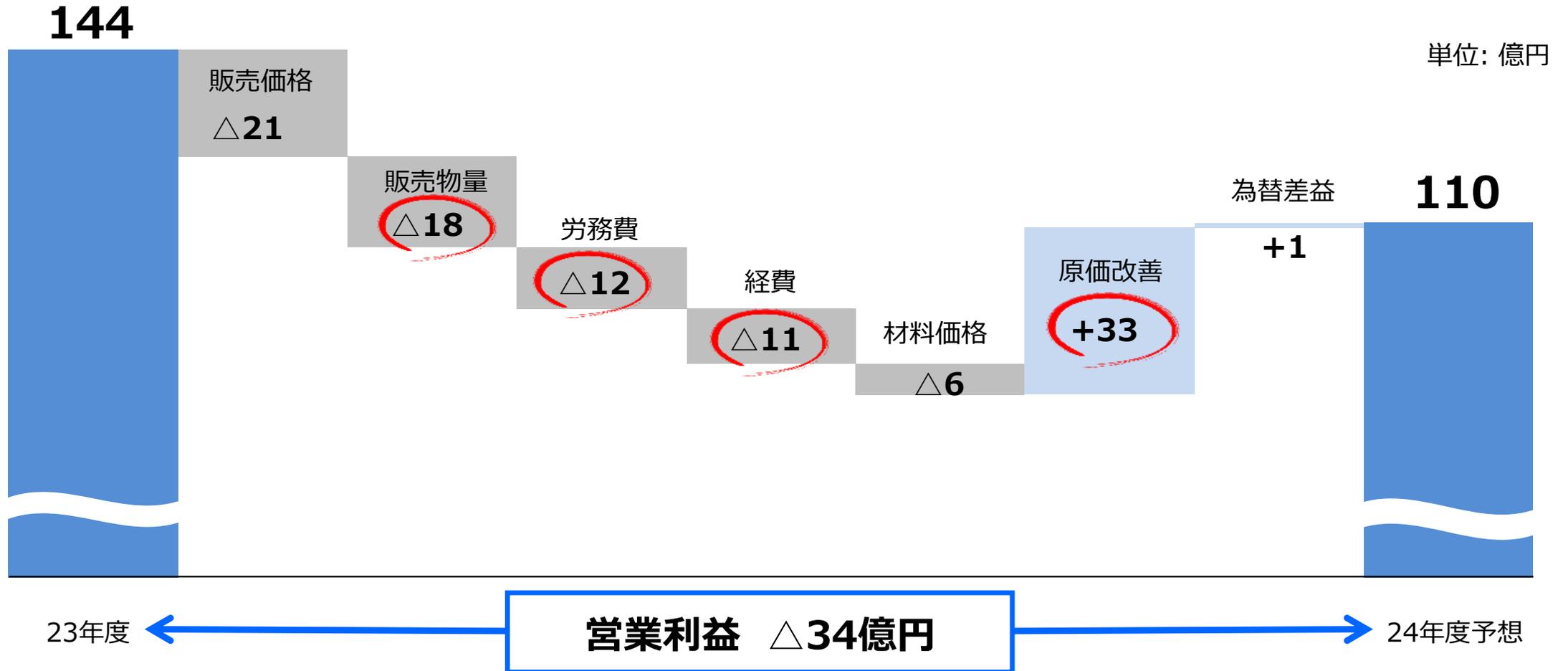
販売物量の減少により売上高は減少

単位: 億円



2-3 通期 連結営業利益 増減要因

販売物量の減少とコストアップを原価改善で挽回



2-4 通期 連結事業別セグメント

プレス・樹脂は減収減益、バルブは前年並みを見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	2023年度 実績	2024年度 予想	前期比		2023年度 実績	2024年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
プレス・樹脂	1,499	1,430	△69	△4.6	103	70	△33	△32.7
営業利益率					6.9%	4.9%	△2.0P	
バルブ	571	565	△6	△1.1	41	40	△1	△2.9
営業利益率					7.2%	7.1%	△0.1P	

2-5 通期 連結地域別セグメント

日本は増収減益、欧米は減収減益、アジアは減収を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	2023年度 実績	2024年度 予想	前期比		2023年度 実績	2024年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
日本	679	730	+50	+7.5	62	43	△19	△31.2
営業利益率					9.2%	5.9%	△3.3P	
欧米	969	905	△64	△6.7	43	32	△11	△25.8
営業利益率					4.4%	3.5%	△0.9P	
アジア	424	365	△59	△14.0	26	28	+1	+3.9
営業利益率					6.4%	7.7%	+1.3P	

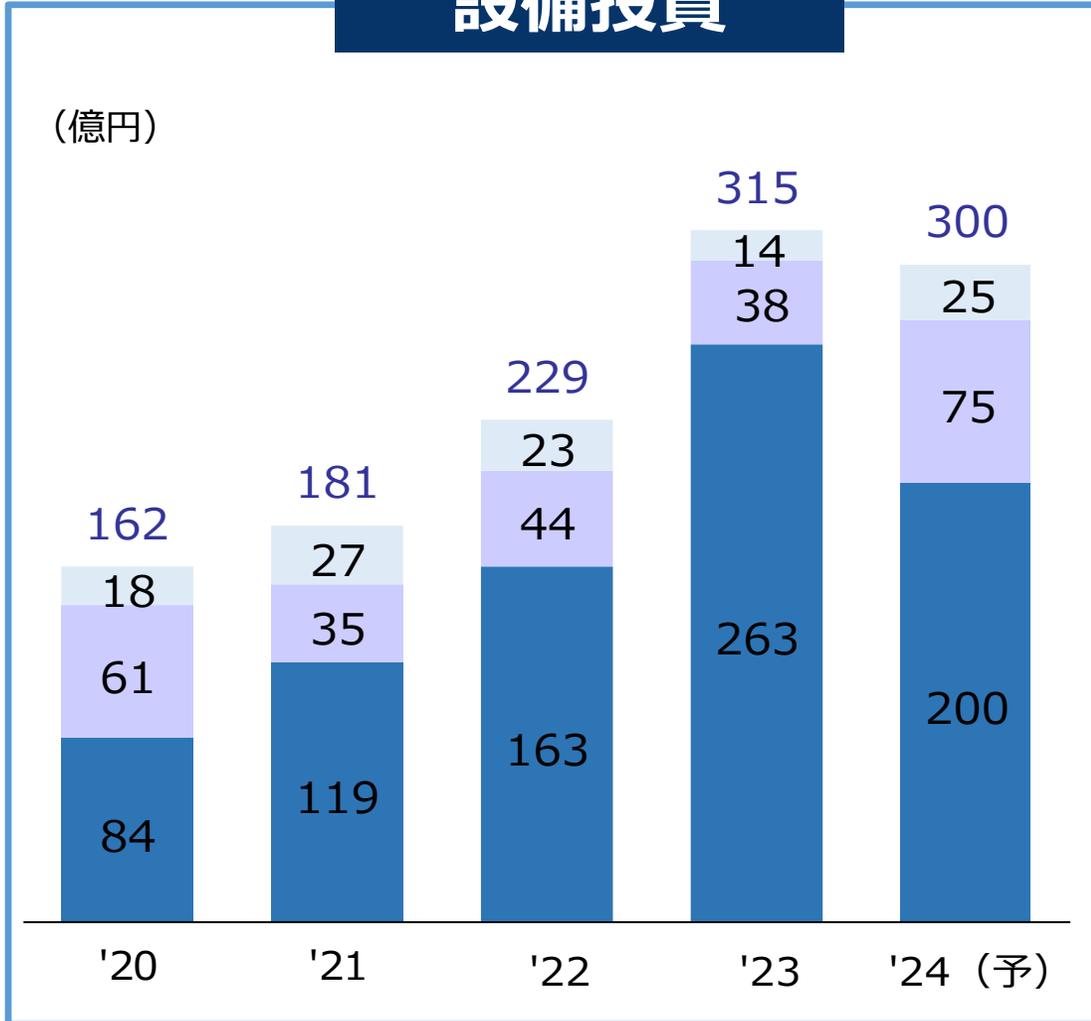
2-6 連結設備投資・減価償却費

将来の成長のための投資を実施

設備投資

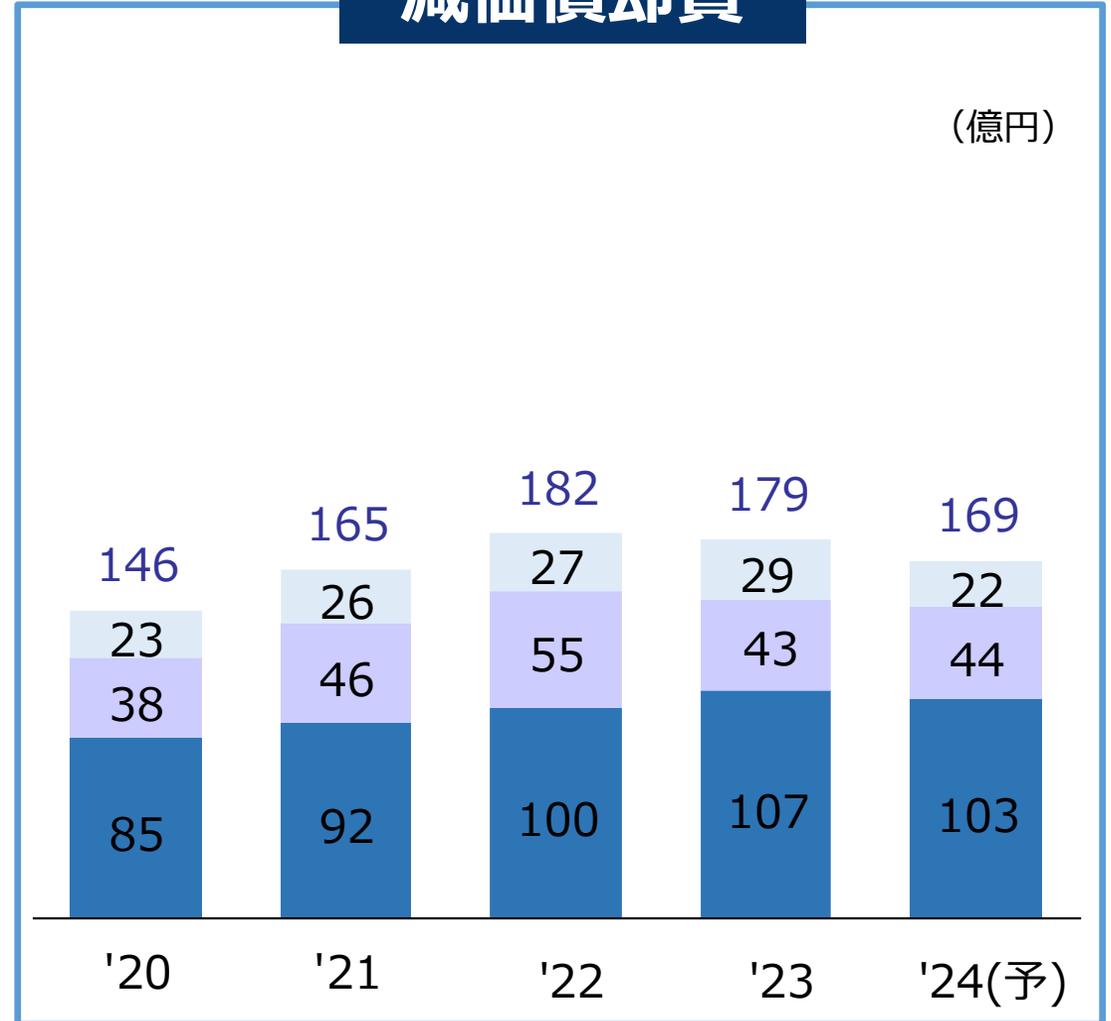
(億円)

アジア
欧米
日本



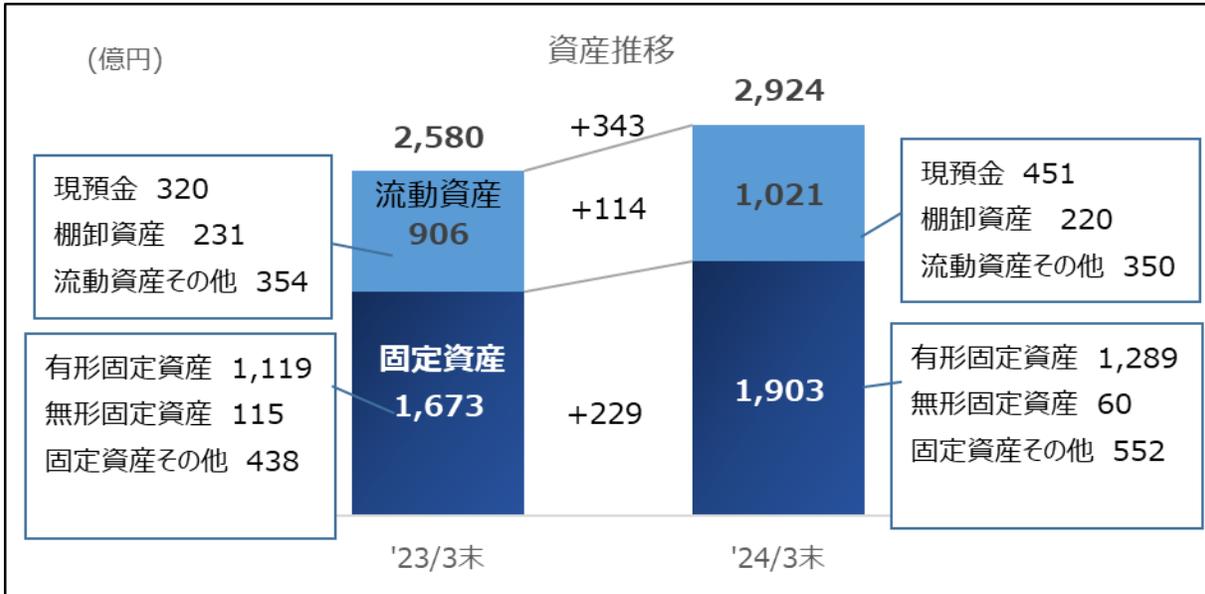
減価償却費

(億円)



2-7 連結貸借対照表

新プレス工場等の投資、政策保有株式の時価評価により固定資産増加
 政策保有株式は純資産に対し20%以下を目安として、順次売却を推進



<主な増減内容>

資産

- ・有形固定資産 +170 (新工場投資等)
- ・無形固定資産 △54 (のれんの減損等)
- ・固定資産その他 +113 (保有株式の時価評価)

(2023年度に政策保有株式158億円の売却実施)

負債

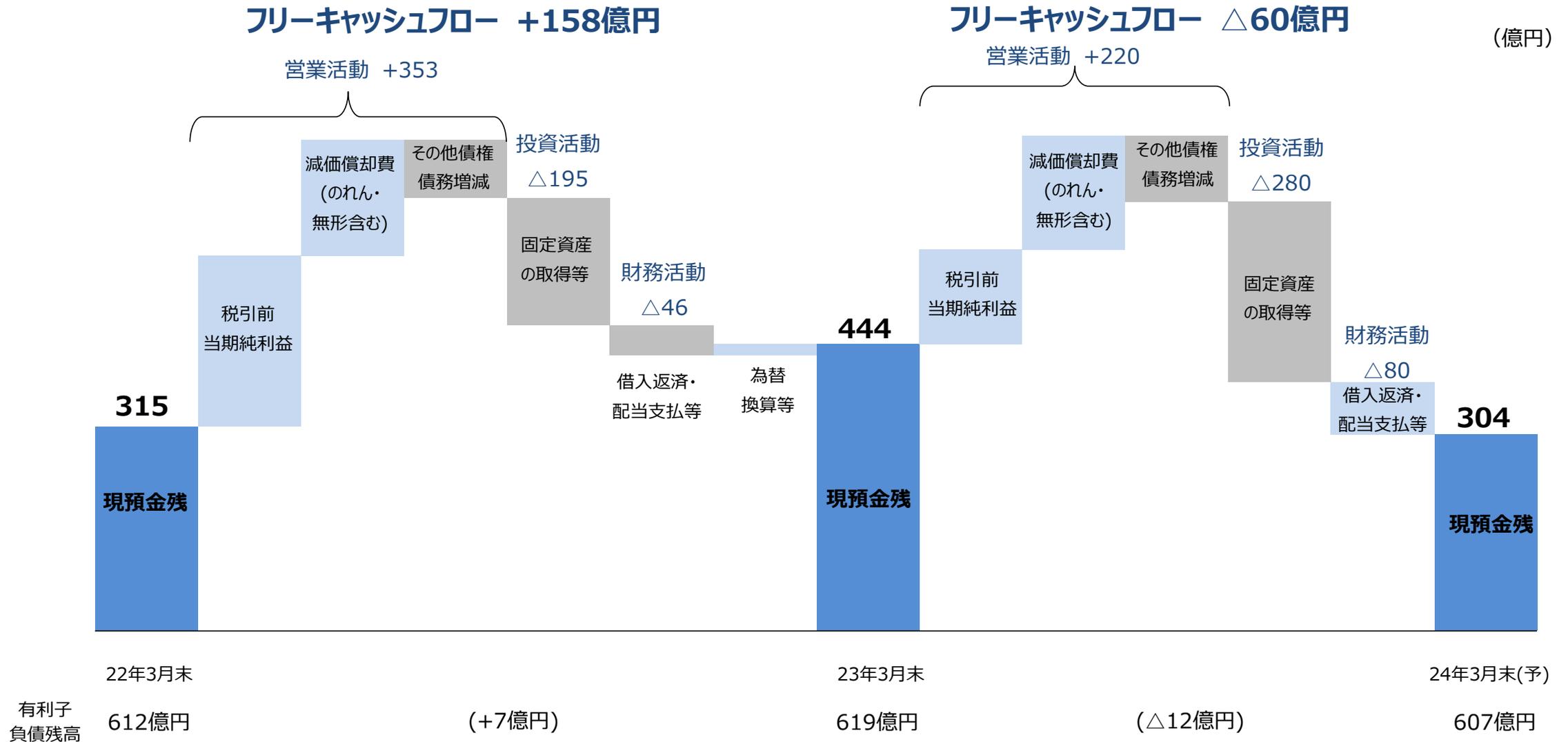
- ・有利子負債 +7
- ・繰延税金負債 +27

純資産

- ・当期純利益 +169
- ・剰余金配当、自己株取得 △39
- ・その他包括利益 +155

2-8 連結キャッシュフロー

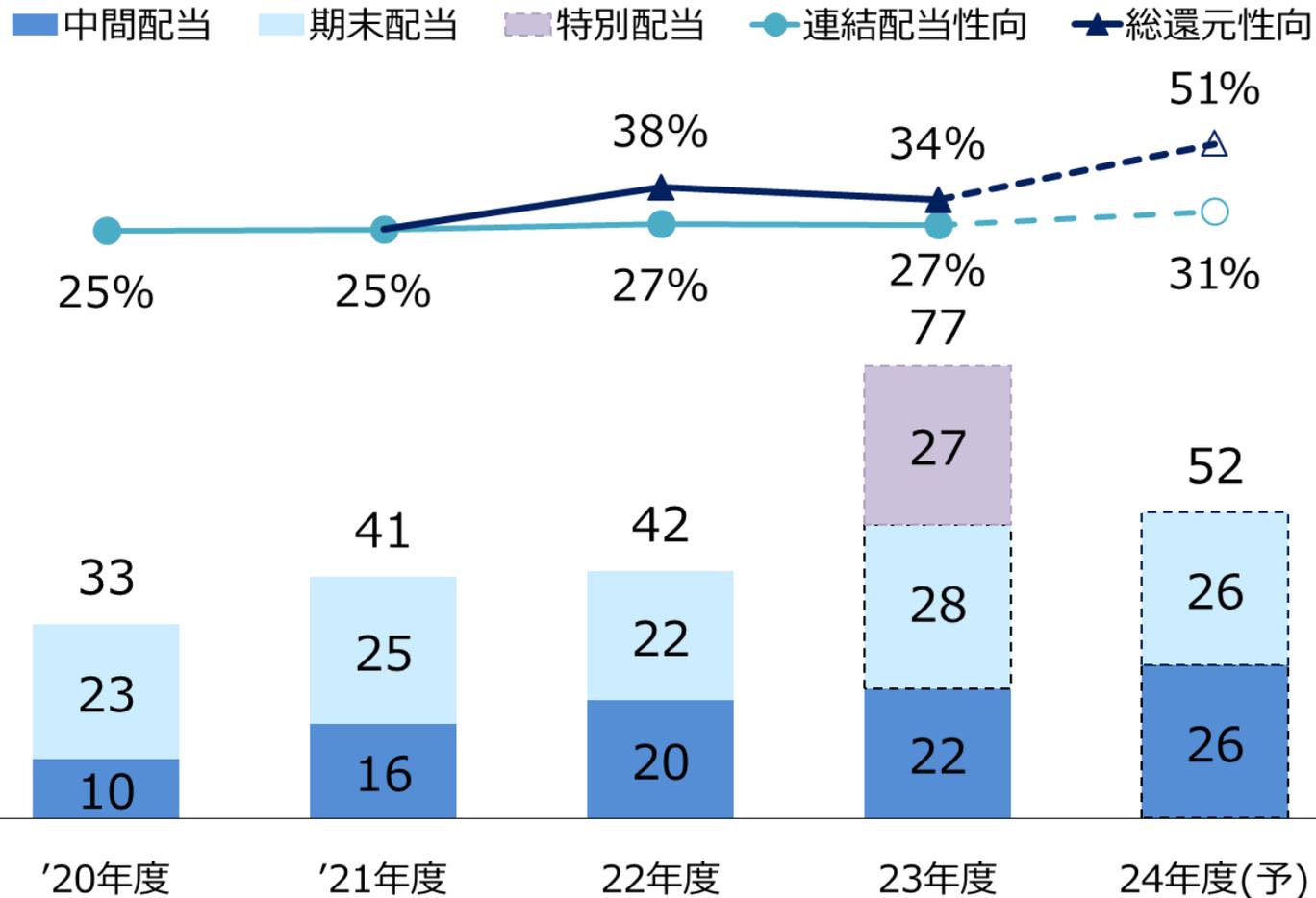
グループ内キャッシュマネジメント強化で、効率的な資金運用を実施



2-9 株主還元

特別配当に加え、自己株取得による株主還元を実施

<1株当たり配当金>



<自己株取得>

- ・目的：株主還元および資本効率の向上、機動的な資本政策遂行
- ・金額：20億円（上限）
- ・株数：150万株（上限）
- ・方法：市場買付
- ・期間：2024年4月26日～9月30日

【参考】

2023年度：12億円

2022年度：10億円

1. 2023年度実績
2. 2024年度通期予想
3. **中期経営計画「NEXUS-26」 進捗**

3-1 中期経営計画 NEXUS-26 進捗

NEXUS-26に沿って財務・非財務目標達成に向けた取り組みを推進

財務価値目標	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想	2026年度 目標
売上高	1,912億円	2,073億円	2,000億円	2,100億円
営業利益率	4.9%	7.0%	5.5%	7%以上
ROE	7.0%	11.2%	6.0%	8%以上

非財務価値目標	2022年度 実績	2023年度 実績	2026年度 目標
電動車向け売上比率	29.1%	34.1%	50%
新規商品・サービス上市件数	1件	7件	15件 (2023年度から累計)
従業員エンゲージメント	-	初回調査実施 肯定的回答率 48.2%	目標設定 肯定的回答率 60%
CO2排出量 (2019年度比、スコープ1・2、グループ)	18.4%削減	20.0%削減 (暫定値)	30%削減

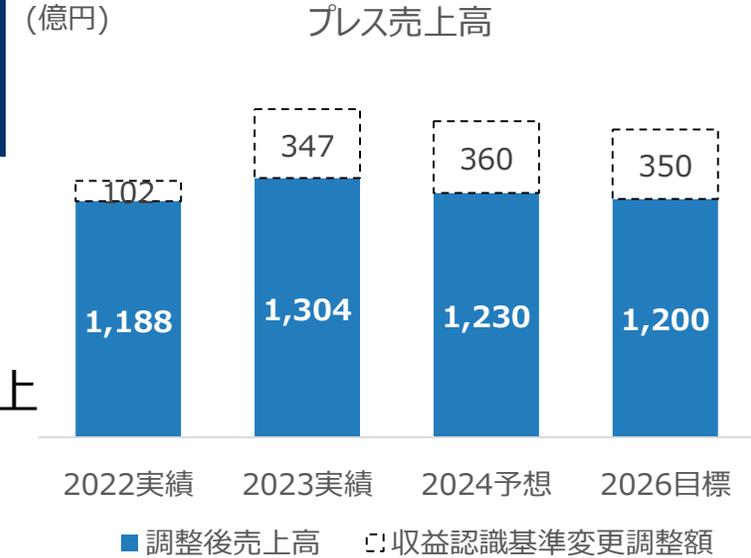
3-2 事業別進捗：プレス・樹脂事業

開発・拡販・受注は計画通りに進捗、生産体制の構築を推進

プレス成長戦略：脱炭素時代に向けた電動化部品の開発・拡販 主要顧客との信頼関係強化による受注拡大

プレス売上目標
2022年度 1,290億円
2026年度 1,550億円
CAGR 4.7%
(収益認識基準変更前)

23年度の成果 | BEVバッテリー関連部品受注、新工場立上げ
重点取組み | 超ハイテン技術を活かしたBEV向け新製品開発
既存ボデーシェル部品拡販による台当たり単価向上
新工場効果、金型工場新設による採算性向上



樹脂成長戦略：BEV向け新製品開発の促進、新規顧客拡販

樹脂売上目標
2022年度 180億円
2026年度 250億円
CAGR 8.6%

23年度の成果 | BEV向け防音カバー、ホイール加飾部品受注
重点取組み | メガTier1、グローバル新規顧客拡販の継続
BEV動向を見極め、需要に合った生産能力増強



3-3 事業別進捗：バルブ事業

グローバル連携で開発・拡販を推進中、新規採用決定

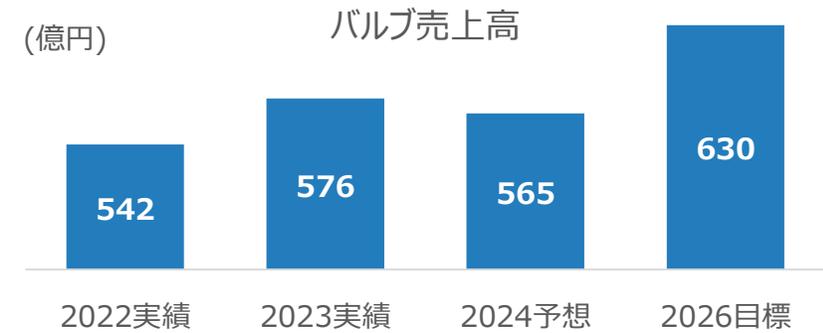
**成長戦略：電動車向け製品開発と拡販
既存製品の新規顧客開拓と収益基盤強化**

バルブ売上目標

2022年度 2026年度
542億円 ▶ 630億円
CAGR 3.8%

23年度の成果 | 電子膨張弁新規受注獲得

重点取組み | メガTier1拡販
生産体制構築、需要を見極めながら投資推進
TPMS新規顧客拡販による売上確保と収益維持



完成予想図

市場拡大を見据え、新工場建設

- ・所在地：北大垣工場敷地内(岐阜県安八郡神戸町)
- ・生産品目：電動車向けなどの各種バルブ製品
- ・延床面積：約 14,900 m²
- ・投資金額：約 45億円
- ・稼働開始：2025年3月



電子膨張弁

3-4 事業別進捗：新事業

新しい事業の柱をつくるための挑戦を継続

成長戦略：社会課題解決に貢献するIoT製品、システムを開発



新規商品・サービス上市件数目標

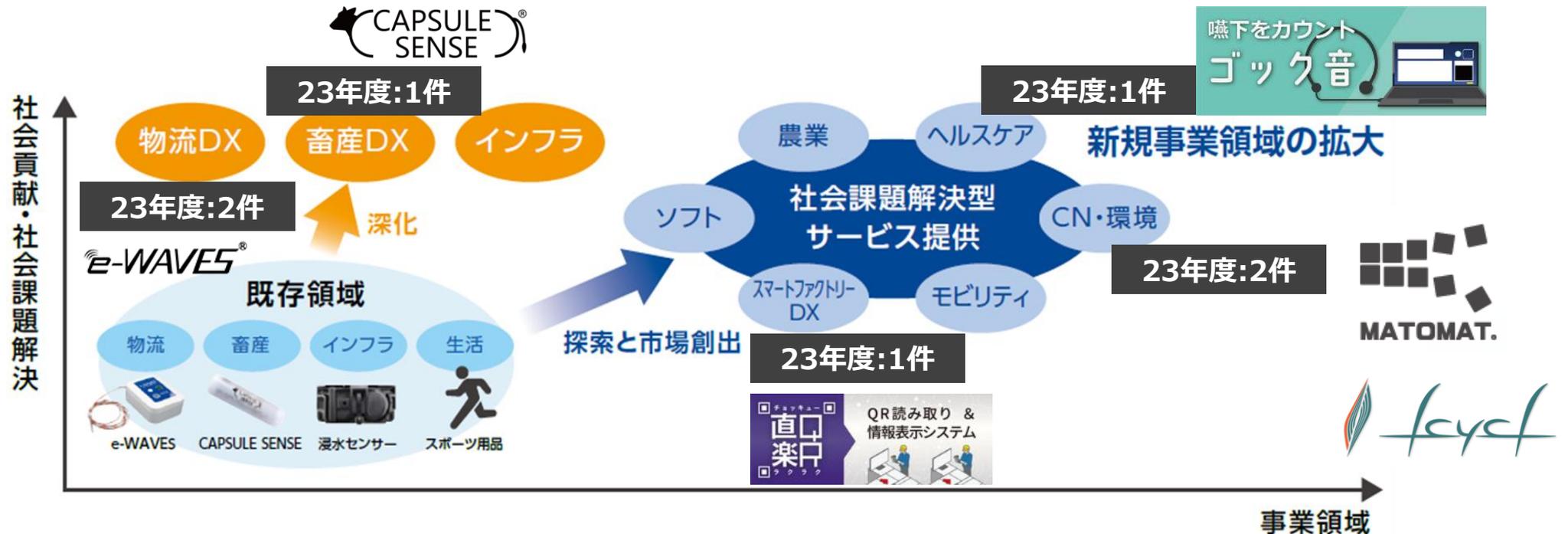
2026年度 15件
2030年度 35件

23年度の成果

新製品 7 件 リリース、e-WAVESバリエーション展開

重点取組み

Webマーケティングなど、製品特性に合わせた効果的な拡販活動
自社リソースによる開発と、オープンイノベーション活用による新商品上市を継続



3-5 事業別進捗：新事業

製品とIoT技術の組み合わせで顧客のDX推進、課題解決に貢献

物流DX

スマートファクトリーDX

バリエーション展開 *e-WAVES*[®]



- ・エントリー・スタンダードからハイエンドまで、製品ラインナップ拡充
- ・製薬メーカー、食品メーカー、スーパーマーケットなどで採用拡大

輸送容器とセットで提案（協業拡大）



新商品

エネグラフ

電気・ガス・エア・水などの使用量データを収集、リアルタイムに見える化、分析をサポート

2024年5月～販売開始

システム概要

- エネルギーメーター
- 電気
 - ガス
 - エア
 - 上水
 - 排水
 - その他

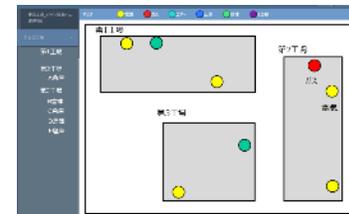
各種メーターと簡単接続



エッジデバイス

使用量データを生産設備から収集

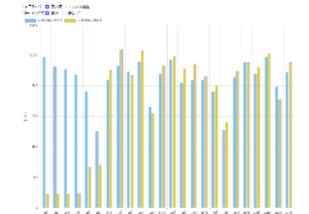
データを取り込むことでリアルタイムに見える化



工場マップ表示



推移グラフ



CO2換算

CO2排出量も把握でき、環境負荷低減活動にも貢献

3-6 事業別進捗：新事業

社会課題解決に結びつくビジネスを軸に、事業領域拡大に挑戦

社内公募型 新規事業創出プロジェクト OMEGA PROJECTを推進 2023年度

94件の応募の中から、審査を通過した
2件のアイデアを事業化検討中

2024年度

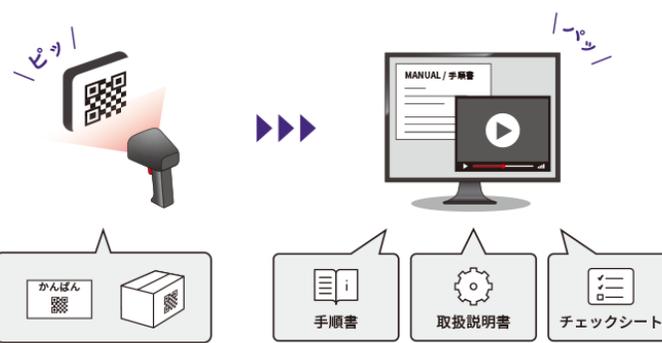
継続してアイデアを募集

全員参加で
広くアイデアを
公募



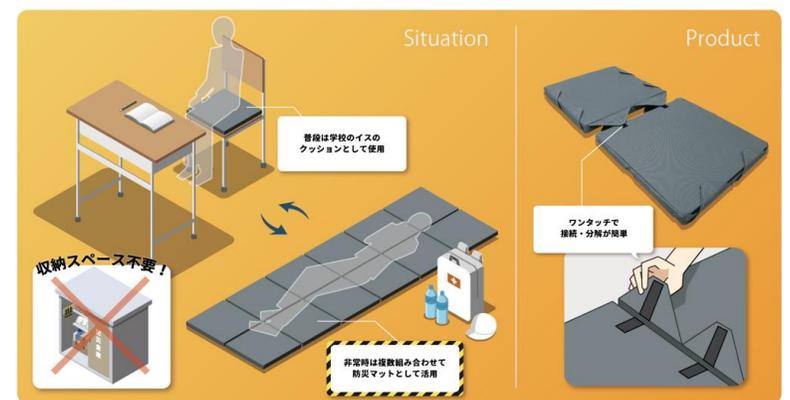
- 唾液の飲み込み回数を簡単に計測
- 手軽にオーラルフレイルをチェック

「ピッ」と読んで、「パッ」と表示
かんばんや製品等QRを読み取り、紐づけしたファイルを画面に表示



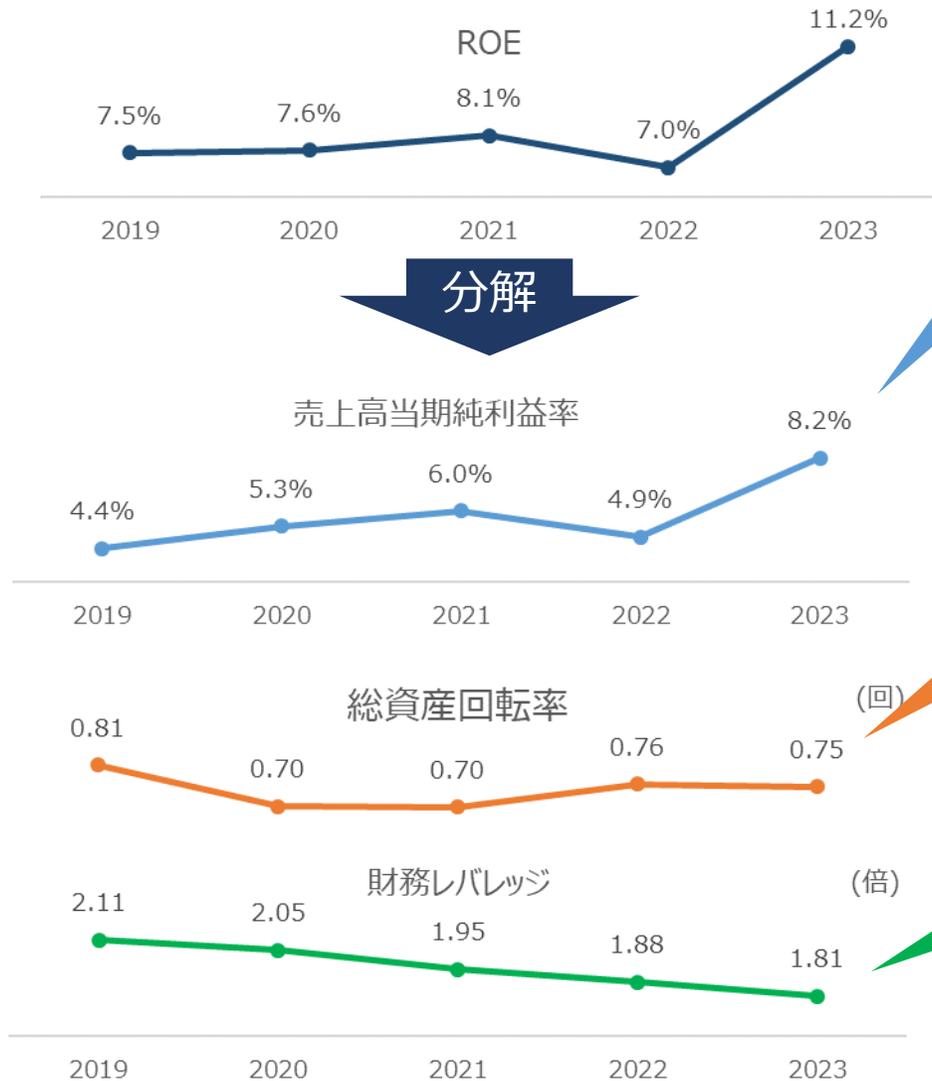
- 現場のペーパーレス化、品質向上、業務効率向上を、簡単・低価格で実現

- 自動車部品の製造過程で発生した廃材をアップサイクルして活用



3-7 資本効率向上に向けた取組み

ROE 「2026年度8%以上」、「2030年度10%以上」を実現し、PBRの向上をめざす



<収益体質・基盤の強化>

- ・継続的な原価改善の推進
- ・デジタルツール活用による生産・管理業務の効率向上
- ・人的資本投資によるパフォーマンスの最大化

<投資効率の向上>

- ・拡販による投資回転率の向上
- ・新規投資の意思決定時には、資本コスト7%を基準に投資効率を検証

<バランスシートマネジメント>

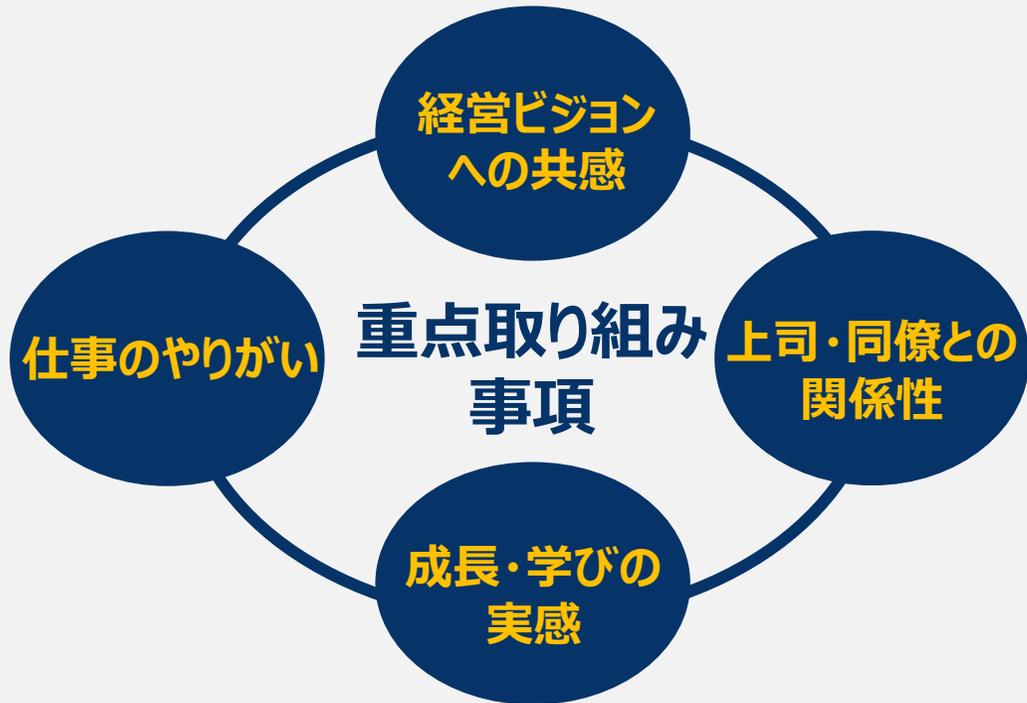
- ・低収益資産の圧縮
- ・政策保有株式の売却推進
- ・機動的な自己株式取得の実施

3-8 サステナビリティ：人財戦略の進捗

従業員エンゲージメント調査に基づき4つの重点施策を特定、取組みを推進中

2023年度従業員エンゲージメント調査実施 経営目標を設定

	2023年度実績	2026年度目標	2030年度目標
肯定的回答率	48.2%	60%	70%



健康経営優良法人2024（大規模法人部門）
3年連続認定

取組み 健康教育の強化
メンタルヘルス相談推進
復職者支援
海外赴任者健康管理



3-9 サステナビリティ：CO₂削減の取り組み

CO₂排出量削減の取組みと、情報開示の充実を推進

太陽光発電の積極導入

東大垣工場にて増設

- ・発電量
約3,200MWh/年
- ・CO₂削減効果
約1,470t/年



省エネ、高効率設備導入

高効率空調導入、
油圧から電動への置換え、
自動化設備による効率化等、
省エネ推進



CDPで高評価獲得

気候変動評価で4年連続
リーダーシップレベルの「A-」獲得

「サプライヤー・エンゲージメント評価」
最高評価「サプライヤー・エンゲージメント・
リーダー」選定



CO₂排出量の第三者検証導入

CO₂排出量（スコープ1・2）
第三者検証を2022年度より実施
今後、継続的に実施予定



3-10 サステナビリティ：ステークホルダーとの信頼醸成

地域社会などステークホルダーとの信頼を高める取り組みを継続的に実施

石川県七尾市他に防災マット「MATOMAT」を寄贈

令和6年能登半島地震の被災地である自治体の小中学校30校に、防災マット約6,000枚(約1,000万円相当)を寄贈



「タイヤ空気圧チェック啓発活動」を開催

ショッピングモールでタイヤ空気圧の啓発キャンペーンを開催
タイヤ空気圧管理の重要性について理解を促進



地域スポーツの振興

トップリーグに所属する男女ソフトテニス部、地域と運営する大垣ミナモソフトボールクラブ、FC岐阜やトヨタ ヴェルブリッツなど、地域スポーツを積極支援



次世代を担う子どもたちの支援

子どもの居場所づくりに取り組む市民団体を継続支援、地元の小中学校・高校・大学生を対象とした工場見学受け入れなど、次世代人財を育成





思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow